



# 肝臓切除術を受けられる患者さんへ (10日間)

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/	/	/	/	/	
経過	入院日 手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4・5日目	術後6・7日目	術後8日目～退院日
目標	手術を受ける準備ができる。		血圧や呼吸が安定している。痛みがコントロールできている。術後の安静を守ることができる。	創部に問題がない。痛みのコントロールができて動くことができる。		食事を食べて腹痛や吐き気がない。	お腹の管が抜ける。		退院後の注意点がわかる。
処置	お臍の処置をします。弾性ストッキングのサイズを測ります。	弾性ストッキングをはきまします。メガネ、入れ歯、貴金属、時計などははずします。看護師と一緒に手術室へ行きます。	酸素吸入をします。心電図モニターを装着します。お腹に管が入ります。鼻から管が入ってくる場合があります。背中から痛み止めの管を入れます。	酸素は朝7時に終了です。回診で傷の状態を確認します。			回診時、お腹の管を抜きます。 * 抜ける時期は変わることがあります。		
点滴			点滴をします。				点滴終了 ※食事の状況に応じて続ける場合があります。		
お薬	普段飲んでいるお薬とお薬手帳を確認しますので、看護師に渡してください。21時に下剤を服用します。	指示されたお薬だけ朝7時までに内服します。 		持参薬は医師に指示されたものを服用します。		痛み止めと胃薬の内服が始まります。 			退院処方がある場合はお渡しします。
検査	血糖測定 血液検査 			血液検査 レントゲン 		血液検査 レントゲン 	[術後5日目] 血液検査 レントゲン		
食事	夕食まで食事をとることができます。夕食時に術前飲料水がでます。21時以降は食事をとることができません。	指定の時間まで水分をとることができます。 □ 午前手術→朝7時まで □ 午後手術→朝9時まで	食べたり飲んだりすることはできません。うがいはできますので、看護師へお知らせください。	状態により水分がとれるようになります。 		術後の経過を見ながら食事が始まります。 			
安静度	制限はありません。		ベッド上で安静に過ごし、起き上がることはできません。体の向きを変えることはできませんので看護師へお知らせください。	術後の経過が問題なければ、歩くことができます。初回歩行は看護師が付き添います。	制限はありません。術後の合併症予防と回復をすすめるために、歩くようにしましょう。 				退院後、激しい運動は控えてください。散歩程度であれば問題ありません。
排泄	制限はありません。	排便があったらトイレは流さず看護師を呼んでください。	手術中に尿の管が入り、自然に尿が排出されます。排便はベッド上で行います。	尿の管は挿入したままです。排便はトイレで行えます。		背中の痛みどめが抜けたら尿の管を抜きます。			
清潔	シャワー浴をします。 			温かいタオルで体をふきます。歩行して問題なければ、弾性ストッキングを脱ぎます。			お腹の管が抜けたらシャワーに入れます。傷を治すためにシャワーに入ります。		入浴は医師の許可が出てからになります。
説明指導	看護師から入院生活や手術後の経過について説明します。外来で手術同意書を記入していない場合は、入院後に医師から説明があります。	ご家族の方は、手術予定時間の1時間前に病棟へお越しください。(9時予定の方は8時半頃)貴重品等はご家族に渡してください。	手術後は主治医からご家族に手術経過の説明があります。  痛みや吐き気などの症状がある場合は、我慢せずに看護師にお知らせください。						午前中に退院です。退院の書類をお渡しし、退院の手続きの説明をします。次回の外来の予定日の説明をします。
その他			集中治療室に入ります。	状態を見て一般病棟へ移ります。通常通りの面会時間にお越しください。					入院の概算が必要な方は早めにお知らせください。



退院後、吐くことが続いて食事が取れなくなった場合は、腸閉塞の可能性がありますので、早めに受診してください。高い熱が出たり、傷が腫れる、痛みが増すなどの症状がある場合、外来へご連絡・ご相談ください。